

経済建設常任委員会研修レポート

10月21日～23日に経済建設委員5名と事務局で島根県益田市、山口県萩市及び山口市で行政調査を行いました。益田市では、日本で唯一の穴あきダムでもある「益田川ダム」を視察研修しました。益田川ダムの特徴は、平常時は貯水せず、流下してくる土砂を流水と一緒に下流に排砂するもので、このことで川に生息する魚類がダム上流に遡上することが可能になっています。ともすると建設反対運動のイメージがあるダム建設事業ですが、事前計画の練りようでは、観光資源の創出や地域活性化が図られ、大きな付加価値が生ずるものであるという印象を受けました。

上の問題点として、状態が良好な空き家物件の充実や登録物件の維持管理（老朽化をいかに防止するか等）、賃貸住宅の質の滞納などがあります。豊かな自然環境もあり住環境も良好で人口増を維持しているのが大津町ですが、将来を見据えれば、萩市のような先進事例を今後さらに研究し、犯罪の温床になりやすい空き家を放置することなく、生かす方向に持っていければと思います。

山口市では、「新山口駅ターミナルパーク整備事業」について視察研修をしました。新山口駅ターミナルパーク整備事業とは、「新山口駅ターミナルパーク整備」と「新山口駅北地区重点エリア整備」の2つからなり、駅周辺（小郡都市核）の機能強化を通じて多様な交流を促し、駅周辺のにぎわいの創出と山口市・山口県中部の活性化を目指すプロジェクトです。計画は一部を除いてまだ道半ばであり今後の計画進捗について注目すべき事業です。

文教厚生常任委員会行政調査報告

先進地から学ぶ

期間 平成26年10月22日
～24日

「学力向上の取組み」

福井県福井市

福井市学校教育目標の「郷土福井に誇りを持ちたくましく生きる子どもの育成」を達成する為に平成19年度から、全小中学校を2学期制にし、学力向上の取組みを実施。内容は、全国学力・学習状況調査を分析し、今年度対しての取組み、今年度中の取組み、長期的取組み、家庭・保護者と連携する取組みに分けてプランを作成し実行する

又、指導力向上にも積極的、継続的な取組みを通して、子どもと向き合う教員の熱意と家庭との協働体制を確立し、「みんなががんばろう」という一体感の中で子供を育てていく。

「夢ある子ども育成事業」

福井県越前市

財団法人日本サッカーク協会との協働事業「夢の教室」を実施。平成19年

総務常任委員会行政調査報告

庁舎建設について

岡山県高梁市

合併協議の中で、庁舎立て替えの意見が付され、平成19年に新庁舎建設委員会がスタートしたが、平成21年に新市長になり、主に場所の問題で見直しとなった。平成22年4月に、新庁舎等建設検討協議会（学識者、外部含む14人）が立ち上げられた。議会は平成22年11月に第一回新庁舎等建設調査特別委員会を開始。新庁舎等建設検討協議会が発足してから、平成27年の庁舎完成まで5年間となっている。

「認知症地域支援事業」
富山県小矢部市
高齢化率が高く、徘徊の恐れがある高齢者94人を抱えているが、「認知症になっても、安心して暮らせる町づくり」を目指している。方法として、地域づくりサポーター育成、啓発普及の為に認知症を知る集いの開催、見守りネットワークの構築、町ぐるみで認知症高齢者を見守り保護する体制を作り、模擬訓練を実施している。

真庭ライフスタイルの構築と交流・定住の促進について

岡山県真庭市

全国的に注目されているのは「バイオマス利活用」である。木質燃料や発電、間伐材活用などの施設めぐりツアーには年間3千人以上が訪れている。



自主防災組織の現状・取り組みについて

岡山県里庄町

地域のコミュニティが薄れている中、訓練などで顔見知りになることが一番の防災対策である。